

平成26年度

川崎市自動車運送事業会計決算の概況について

交 通 局

1 平成26年度自動車運送事業会計決算概況

(総括事項)

市バス事業は、市民の大切な公共交通機関として重要な役割を果たしています。しかし、社会経済情勢の変動等により、経営を取り巻く環境は厳しい状況となっており、安全を第一の使命としつつ、お客様に満足いただける利用しやすいサービスの提供に向けて、持続可能な経営を行うため、平成26年度に策定した「川崎市バス事業経営プログラム」により経営の効率化に努めております。

平成26年度の経営状況については、収入としては、需要の変化に応じたダイヤ改正・路線見直し等により乗車人員の増加を図るとともに、消費税率引き上げに伴う乗車料金の改定を行い、乗車料収入全体として前年度を上回りました。支出としては、営業所の管理委託の実施、タブレット型停留所運行情報表示器の導入などにより経費の抑制を図りましたが、地方公営企業会計基準の見直しに伴う退職給付引当金の計上などにより、支出額全体としては前年度を大幅に上回り、収益的収支は赤字決算となりました。

今後も輸送の安全性を着実に確保するとともに、さらなる経営改善とお客様サービスの向上に取り組んでまいります。

(1) 営業状況

(運輸成績)

事業の根幹である乗車料収入は、乗合乗車料収入と貸切乗車料収入を合わせ76億6,924万4,391円で、前年度と比較して1億8,773万9,418円の増、乗車人員は4,837万5,322人で前年度と比較して191万5,803人の増となりました。

(安全な輸送サービスの確保)

お客様に安全・安心な輸送サービスを確実に提供するため、運転手グループ制の活用、大型液晶モニターを活用した電子掲示板の整備による情報伝達の強化など、運行管理体制の充実・強化に取り組むとともに、事故の発生を未然に防ぐための取組として、優先席付近床面への注意表示の整備、車内事故防止リーフレットの作成及び配布などにより、運輸安全マネジメントを着実に推進しました。

(安心・快適なサービスの充実)

王禅寺東地区から新百合ヶ丘駅へのアクセス向上のため、12月1日から新ゆ

り線の系統を新設するとともに、多客時の対応として、年末に柿生線の深夜バスを増便するなど、市バスネットワークの充実に取り組みました。

また、バス停留所施設の改善として、上屋 8 基、照明付バス停留所標識 20 基、停留所ベンチ 50 脚の整備を行うとともに、タブレット型停留所運行情報表示器を 5 台導入し、経費を抑えつつ、市バスの運行情報を提供する「市バスナビ」サービスの充実に取り組みました。

（経営基盤の充実・強化）

平成 25 年度に引き続き上平間営業所及び菅生営業所について、民間事業者への管理委託による運行を行うとともに、需要の変化に応じたダイヤ改正・路線見直し等に取り組みました。

（社会的要請等に対応した事業の推進）

バリアフリーに配慮し、バス車両 3 両を購入し、バリアフリー法に適合した低床バスの導入率 100%を維持しました。

また、地域社会の一員として、市や地域における行事、文化・芸術等のイベントに伴う増便等を行いました。

（2）経営成績

収益的収支は、事業収益 97 億 367 万 1,677 円に対して、事業費用は 140 億 4,743 万 273 円で収支差引は 43 億 4,375 万 8,596 円の赤字となり、消費税等を除いた収支差引では、43 億 5,488 万 5,628 円の純損失となりました。この結果、平成 26 年度未処理欠損金は 44 億 1,789 万 7,129 円となりました。

また、資金としては、地方公営企業会計基準の見直しに伴う退職給付引当金の計上による影響等が除かれ、不足額が 9,533 万 2,104 円となりました。

2 平成26年度自動車運送事業会計決算（総括表）

（単位：円、％）

(1) 予算執行状況(税込)

ア 収入

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
1 収益の収入	9,676,778,000	9,703,671,677	26,893,677	100.3
2 資本的収入	121,715,000	102,405,984	△ 19,309,016	84.1
合 計	9,798,493,000	9,806,077,661	7,584,661	100.1

イ 支出

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
1 収益の支出	14,448,956,000	14,047,430,273	△ 401,525,727	97.2
2 資本的支出	931,898,000	894,288,009	△ 37,609,991	96.0
合 計	15,380,854,000	14,941,718,282	△ 439,135,718	97.1

(2) 総合収支

区分	収入	支出	収支差引
総合収支	9,806,077,661	14,941,718,282	△ 5,135,640,621

(3) 財源収支

項目	金額	内訳
①総合収支差引額	△ 5,135,640,621	
②当年度分損益勘定留保資金	4,999,925,725	引当金 4,479,288,545 減価償却費 608,155,035 固定資産除却損 6,405,699 長期前受金戻入 △ 93,923,554
合 計 ③ = ① + ②	△ 135,714,896	当年度財源余剰(△不足)額

(4) 累積財源過不足額

前年度末財源余剰額	④	40,382,792
当年度財源余剰(△不足)額	③	△ 135,714,896
当年度末財源余剰(△不足)額	④ + ③	△ 95,332,104

(5) 経営成績(税抜)

科目(費用)	金額	科目(収益)	金額
営業費用	9,162,341,328	営業収益	7,782,041,191
営業外費用	49,451,101	営業外収益	1,394,006,309
特別損失	4,344,812,426	特別利益	25,671,727
総費用	13,556,604,855	総収益	9,201,719,227
当年度純利益	—	当年度純損失	4,354,885,628
前年度繰越利益剰余金	—	前年度繰越欠損金	63,011,501
当年度未処分利益剰余金	—	当年度未処理欠損金	4,417,897,129

※資本剰余金処分による処理後欠損金

資本剰余金処分類	1,483,355,723
処理後欠損金	2,934,541,406

3 業務量

(1)乗合自動車事業

区 分	平成26年度		平成25年度		比較増△減	
	数量	1日平均	数量	1日平均	数量	1日平均
期末営業キロ	195.14 km	-	195.09 km	-	0.05 km	-
営業日数	365日	-	365日	-	0日	-
期末在籍車両数	338両	-	335両	-	3両	-
延実働車両数	107,561両	295両	107,870両	296両	△ 309両	△ 1両
実車走行キロ	13,171,362 km	36,086 km	12,943,383 km	35,461 km	227,979 km	625 km
乗車人員	48,118,950人	131,833人	46,192,701人	126,555人	1,926,249人	5,278人
増減率					4.2%	4.2%
定期	11,428,127人	31,310人	10,746,302人	29,442人	681,825人	1,868人
うち特別乗車証分	2,852,756人	7,816人	2,767,022人	7,581人	85,734人	235人
定期外	36,690,823人	100,523人	35,446,399人	97,113人	1,244,424人	3,410人
うち高齢者外出 支援乗車事業分	4,982,626人	13,651人	4,877,901人	13,364人	104,725人	287人
うち障害者外出 支援乗車事業分	2,340,233人	6,412人	2,217,790人	6,076人	122,443人	336人
乗車料収入(税抜)	7,639,747,541円	20,930,815円	7,448,701,944円	20,407,403円	191,045,597円	523,412円
増減率					2.6%	2.6%
定期	1,480,401,786円	4,055,895円	1,387,044,660円	3,800,123円	93,357,126円	255,772円
うち特別乗車証分	415,368,500円	1,137,996円	394,095,150円	1,079,713円	21,273,350円	58,283円
定期外	6,159,345,755円	16,874,920円	6,061,657,284円	16,607,280円	97,688,471円	267,640円
うち高齢者外出 支援乗車事業分	998,679,737円	2,736,109円	965,813,930円	2,646,066円	32,865,807円	90,043円
うち障害者外出 支援乗車事業分	257,540,255円	705,590円	243,010,586円	665,782円	14,529,669円	39,808円

(2)貸切自動車事業

区 分	平成26年度		平成25年度		比較増△減	
	数量	1日平均	数量	1日平均	数量	1日平均
営業日数	365日	-	365日	-	0日	-
期末在籍車両数	5両	-	5両	-	0両	-
延実働車両数	629両	2両	739両	2両	△ 110両	0両
実車走行キロ	31,156 km	85 km	36,522 km	100 km	△ 5,366 km	△ 15 km
乗車人員	256,372人	702人	266,818人	731人	△ 10,446人	△ 29人
増減率					△ 3.9%	△ 4.0%
乗車料収入(税抜)	29,496,850円	80,813円	32,803,029円	89,871円	△ 3,306,179円	△ 9,058円
増減率					△ 10.1%	△ 10.1%

※ 再掲(単位:人、円)

乗車人員計(乗合+貸切)

乗車人員(特別乗車証分、高齢者分並びに障害者分除く)

特別乗車証分

高齢者外出支援乗車事業分

障害者外出支援乗車事業分

乗車料収入計(乗合+貸切)

乗車料収入(特別乗車証分、高齢者分並びに障害者分除く)

特別乗車証分

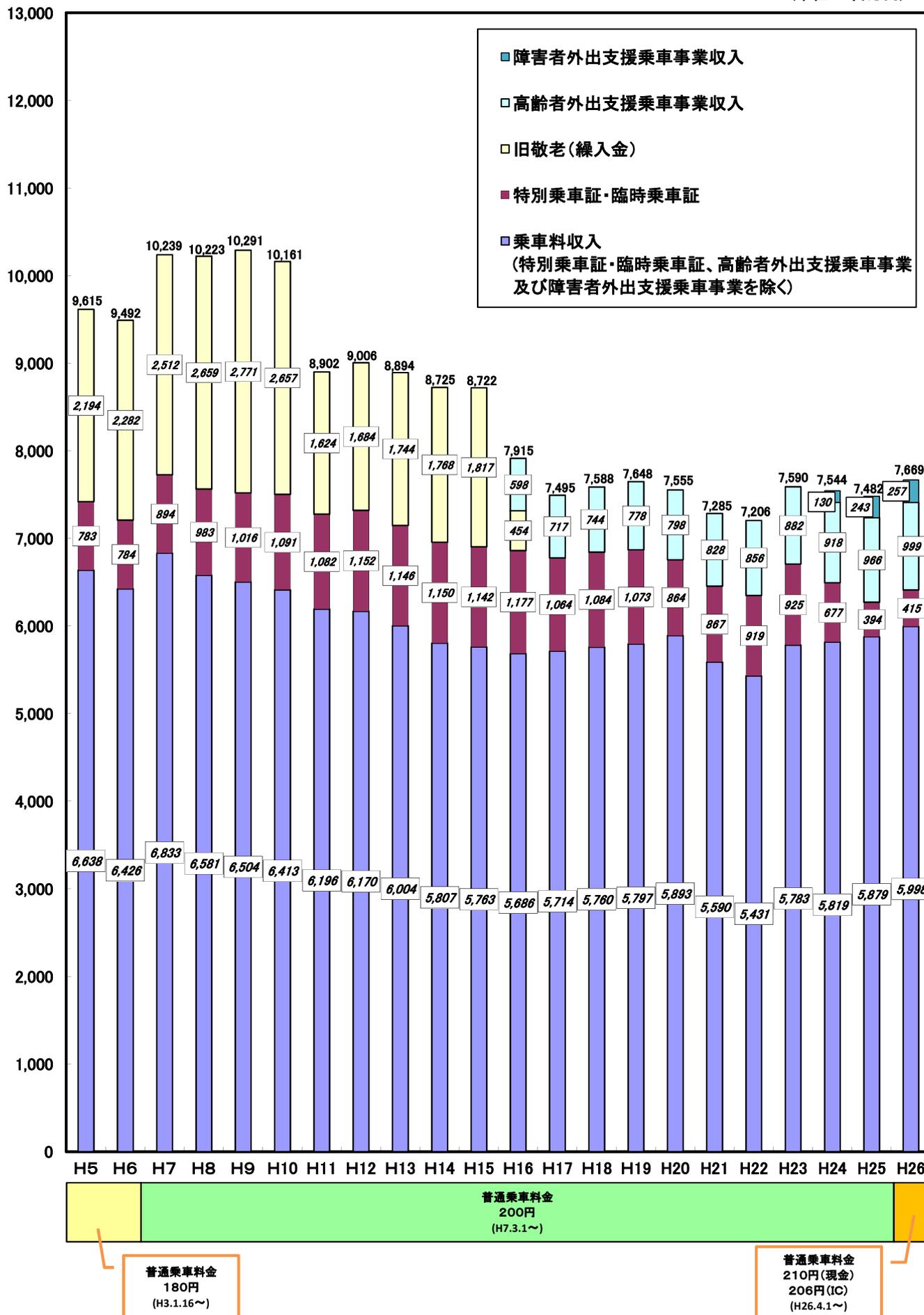
高齢者外出支援乗車事業分

障害者外出支援乗車事業分

	平成26年度	平成25年度	比較増△減	増減率
乗車人員計(乗合+貸切)	48,375,322	46,459,519	1,915,803	(4.1%)
乗車人員(特別乗車証分、高齢者分並びに障害者分除く)	38,199,707	36,596,806	1,602,901	(4.4%)
特別乗車証分	2,852,756	2,767,022	85,734	(3.1%)
高齢者外出支援乗車事業分	4,982,626	4,877,901	104,725	(2.1%)
障害者外出支援乗車事業分	2,340,233	2,217,790	122,443	(5.5%)
乗車料収入計(乗合+貸切)	7,669,244,391	7,481,504,973	187,739,418	(2.5%)
乗車料収入(特別乗車証分、高齢者分並びに障害者分除く)	5,997,655,899	5,878,585,307	119,070,592	(2.0%)
特別乗車証分	415,368,500	394,095,150	21,273,350	(5.4%)
高齢者外出支援乗車事業分	998,679,737	965,813,930	32,865,807	(3.4%)
障害者外出支援乗車事業分	257,540,255	243,010,586	14,529,669	(6.0%)

4 乗車料収入等（税抜）の推移

（単位 百万円）



5 財政健全化法における資金不足比率の状況

会 計 名	資金不足比率	経営健全化基準
自動車運送事業会計	1.2%	20.0%

※資金不足比率は現段階での速報値であり、今後、監査委員の審査を経た上で議会に報告し確定します。